



# 全教北九州

新聞 全教北九州  
全教北九州市教職員組合  
発行責任者 中川喜久子  
2021.6.25

全教北九州 検索 「2021春闘」特集 この新聞はすべての教職員に配布しています

## コロナ禍で奮闘する教職員の働きに応えるためにも、待遇改善を要求！

名ばかりの「働き方改革」はいらない

### 2021年度春闘交渉

6月2日の交渉には、教育委員会から田島教育長含む5名、全教北九州からは、新屋委員長以下4名が参加しました。短時間の交渉で内容を深めるには十分とは言えませんでした。組合からの意見を述べながら教育委員会と意見交換を行いました。

#### コロナ対策での教職員の奮闘が数字に反映

交渉の冒頭、教育長の挨拶で、コロナウィルス感染者についての報告がありました。5月末までの市内陽性者は4584人。そのうち学校関係者は200人で4%。教職員は16人と少なく、日頃から感染防止に努めていることが伝わると感謝を述べました。

コロナ禍での教職員の奮闘が数字にも現れました。その一方で学校の多忙は相変わらずです。教育委員会は、教職員の労苦に応え、教職員の切実な要求に耳を傾けて労働環境を充実し待遇を改善して働きがいのある職場を実現すべきです。

#### 待遇と労働条件を改善tonenjan

北九州市の平均給与が都道府県と政令市の中で最下位であったことを指摘し、教員募集にあたって賃金の引き上げ、福利厚生など待遇を改善すること、ハラスメント対策、業務の大幅削減に取り組んでいることを志望者にアピールできるように労働条件を改善することを求めました。

#### 事務補助員を全校配置すること

事務補助員が配置されなくなった学校の事務職員は体調を壊すほど業務過多であることを指摘し、事務補助員を全校配置に戻すよう求めました。加えて一人で担っている事務職員への手当の支給、賃金の引き上げも求めました。

また、早期に給食費の公会計化を進める等の業務改善を求めました。

#### 持ち授業時間は均等にすること

小学校の専科教員の配置は進んでいるが、学校によって配置に差があり不公平であることを指摘し、持ち授業時間が一定になるよう、専科教員の配置に取り組むことを求めました。

#### 無駄な仕事は省くjan

この1年、夏の暑い日も冬の寒い日も玄関前で子どもたちの健康観察を行う等、感染防止に努めてきた教職員の労苦に報いるよう求めました。

学力調査の自校採点をするよう通知があったが、教師は学力テストや自校採点をしなくても、どの

子がどこが苦手なのかはわかっている。無駄な仕事をなくして、働きやすい労働環境を実現するよう求めました。

#### 施設設備を再点検し、改善すること

教室の照度が学習に必要な基準に達していない、学校によっては200人が一か所の手洗い場を使用している、など施設設備の不備を指摘し改善を求めました。加えてハード面だけでなく安全管理面を含めた再点検も求めました。

また、山が近くスズメバチが校内によく入ってくるので網戸設置を要求しても4階という理由で設置されないなど実情を考慮しない対応があることを指摘し、柔軟に対応するよう求めました。

#### その他の要求

会計年度任用職員や臨時教職員の処遇を改善すること、ハラスメントへしっかり対応すること、人事評価の結果の開示を制度化すること、ICT機器の整備や活用による教職員の負担増を解消するため各校に支援員を配置すること等も求めました。

#### 給与改定交渉にむけて

コロナ禍で圧倒的に時間が足りない春闘交渉でしたが、今回の要求も含め、秋の給与改定交渉では時間をかけて交渉します。

また、給与改定交渉では現場の教職員の切実な声を反映した要求書等を出しながら要求の実現に努めます。

### 北九州の戦争遺跡

#### 奉安殿(楠橋)

八幡西区廣幡神社境内に小型の神社風の建物がある。以前は「招魂社(楠橋小学校奉安殿)」という木札があったらしいが、今は「〇の子神社」という札に変わっている。移転したのは1947年ごろで、解体せずに地元住民が小学校から現在地まで運んだという。保存の意図は不明だが表向き奉安殿とはできなかった。終戦まで小学校には必ず奉安殿が設置され、中には「御真影」と呼ばれた天皇・皇后の写真と教育勅語が納められていた。登校時子どもたちは最敬礼をしなければならなかった。校長には「御真影」を守る義務があった。当時の天皇制絶対主義のもとでの「皇民教育」を象徴する建物である。



# GIGAスクールへの道は険しく遠い

## 6月19日「せんせいの学校」GIGAスクールを語ろう

6月19日、「せんせいの学校」せんせいのオンラインしゃべり場「GIGAスクールを語ろう」を開催しました。参加者から職場でのGIGAスクールの推進状況、タブレットの活用、自分の思っていること、同僚の反応などを出し合いました。

情報交換で初めて知ることもあり、タブレットを使つて本格的な授業するには、まだまだ多くの解決すべき課題があることがわかりました。

とまどう大人と、手慣れた子ども

今年度、タブレットを活用した会議や研修が多くの学校で行われていきます。タブレットの使用 방법에詳しくない教員も多数いて戸惑っています。

一方、子どもたちは、タブレットの操作も手慣れた様子で進めることができます。「すららドリル」等にも、目を輝かせながら取り組む姿が見られます。正誤がすぐにわかるし、文字を書くのが苦手な子どもには学習の

動機づけになるようです。しかし、特に小学校では、書く作業も重要です。タブレットは便利ですが、これ一辺倒ではいけないと思います。支援員の常駐が必要

現場には、「担当が誰なのかわからない」「不具合が出た場合、誰に聴いたらいいのかわからない」という声があります。調べ学習などで一斉に同じサイトに接続すると、接続できない、表示に時間がかかりすぎるなどの問題も明らかにありました。

オンライン授業で問題が起こると授業が成立しません。GIGAスクール担当教員が、授業の合間に問題の解決や機器整備に時間を割くのは限界があります。「困つ



たときにすぐ聞くことができるよう、支援員さんに常駐してほしい」という声がありました。また、故障等で使用できないときの代替機があるのか、保護者への費用負担の有無など機器の補償の範囲等も気になります。

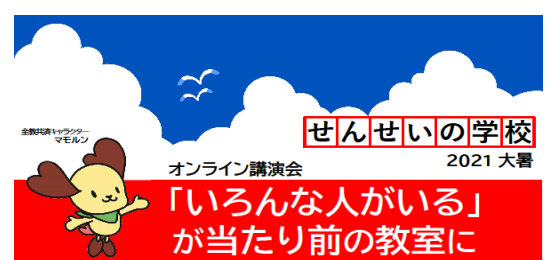
学校ごとの違いもわかりました。テレビと接続するケーブルの数、「すららドリル」のインストール、低学年へのタブレット配布は全員にするか、2つの学年で共有するか、等です。

## GIGAスクールに翻弄されずに、現場の声に耳を傾けてほしい

北九州市でも自宅での接続状況のアンケートがありました。その結果、どの学校でも、自宅にネット環境がない、タブレットを自宅のインターネットに接続できない家庭があることが明らかになりました。これらの家庭への対応はよくわかっていません。家庭での使用を拙速に進めるべきではありません。長期の休校があった場合、家庭でオンライン授業が視聴できないときは、校内に学習会場を設けるなどの配慮が必要でしょう。

新型コロナウイルスや濃厚接触者になって登校できない子どもたちが勉強ができる健康状態であれば、タブレットを貸し出し（必要な家庭にはWiFiルーターも）活用することは、学習の保証として良いことだと思います。また、不登校の子どもに、授業のライブ配信があるという話も聞きます。

GIGAスクールには、このような柔軟なスタートが必要で、これからはICTのスキルは重要であり、教育のICT化の有効性や可能性は否定できません。しかし、性急に取り組む必要はありません。できることから始め、教員の過剰な負担を避け、GIGAスクールに翻弄されないようにしたいものです。また、子どもたちの健康面や書く力の低下など学力面の影響



2021.7.24(土) 14時から16時  
オンライン(Zoom)配信  
参加ご希望の方は組合員にご連絡ください。組合員ホームページの問い合わせフォームから受け付けています。IDなど配信に必要な情報をお知らせします。  
配信しないときはマイクをミュートにしてください。  
■おはなし 坂田 和子さん 全国生活指導研究協議会(全生研) 研究全国委員  
明日への実践に希望がもてるように、どの子ども大切にできるように、ともに考えていきましょう

参加ご希望の方は、全教北九州までご連絡ください。視聴に必要な日パスコードをお知らせします。学級づくりのヒントがたくさん!



組合加入はこちらから

あなたも全教北九州へ